

古楽ファン垂涎のアイテム30タイトル発売 — 2度目の奇跡!

ワーナー・クラシックス オリジナル楽器シリーズ  
**オリジナール**

**Originale**  
 Period Instrumental Series

第3回(20タイトル) 2015年 11月18日 発売

第4回(10タイトル) 2015年 12月16日 発売

1枚組

¥1,400(本体)+税

2枚組

¥2,300(本体)+税

3枚組

¥3,100(本体)+税

バッハやモーツァルトの「時代の音」。

今回は旧EMIクラシックスと旧ヴァージン・クラシックスの

貴重なオリジナル楽器による録音から30タイトルを選びました。!

メジャー各社、古楽の専門レーベルを設立した中、『Reflexe』(旧EMI)と『Veritas』(旧ヴァージン)は、1970年代後半から1990年代にかけてオリジナル楽器による録音の最先端を走ったシリーズでした。

当時発売となったアルバムは廃盤となっている作品も多いため、この度貴重な作品を再発売!

作品や演奏の理解を深めるには不可欠な、日本語解説・歌詞対訳付。

このシリーズは、日本盤のみの発売です。



第1回、第2回 好評発売中!!

Originale特設HP [wmg.jp/special/originale/](http://wmg.jp/special/originale/)



# 「奇跡」がふたたびとなった《オリジナル》

矢澤孝樹（音楽評論）

日本マンガ界の至宝・榎岡かずおは、名作『わたしは真悟』の中でこう書いた。  
「奇跡は誰にでも一度おきる だが おきたことには誰も気がつかない」

ワーナーミュージックが有するテルデック、エラート両レーベルの豊富な古楽カタログを大量に復活させる「オリジナル」シリーズが2015年春に発売されたとき、古楽ファンの多くが、「これは奇跡のようなリリースで、もう二度とこんなことはおこらないかもしれない」と思ったはずだ。だが奇跡に気づき、その恩恵に浴した者は、2度目の奇跡に出会うことができる。早くも「オリジナル」続篇の登場である。

今回発売される30点の内訳は、IHEMI系10枚、旧ヴァージン・クラシックスの20枚である。

まず旧EMI系から概観しよう。主体をなすのは、1980年代半ばから国内盤発売された英EMI原盤の「リフレックス」シリーズ。貴重なレパートリーを英国古楽のニュー・ウェイヴの演奏で紹介し、当時の古楽ファンは狂喜したものだ。ジョスカン・デ・プレの録音がヒリアード・アンサンブルの命名を高めたことがまず思い出されるが、再発売の機会に恵まれた同団体はあえてはずし、「メディチ家の祝祭」をはじめ後期ルネサンスからバロック期の声楽を主体に優れた企画盤を発表したタヴァナー・コンソートの再評価を促している点に、今回の企画の「意志」が感じられる。ロンドン・バロックやハウスムジックの名も懐かしいし、ノリントンの先駆的な録音の復活も喜ばしい。さらに、今をときめくフライブルク・バロックオーケストラの初期録音（ヨハン・ベルンハルト・バッハ！）の初登場もある。しかも、「リフレックス」に先立つ、国内盤紹介が皆無に近かった独エレクトローラ時代の「レフレクセ」シリーズから、サヴァールとコープマンが共演するJ.S.バッハのガンパ・ソナタが初登場するという驚きのチョイス（彼らはアリア・ヴォックスに再録音しており、これは初回録音）。旧「レフレクセ」はジャケットも斬新で素晴らしかったので、オリジナル・ジャケットで蘇るのは感動だ。

そして「リフレックス」シリーズの80年代末の失速と入れ替わるように登場したのが旧ヴァージン・クラシックスの古楽部門「ヴェリタス」。やがて旧EMIに吸収されたが、コンソート・オブ・ミュージックやホロウェイらヴェテラン、ザ・シックスティーンのような新鋭など英国勢に加え、アンサンブル・ジル・バンショワ、ヘレヴェッヘ、ジェラルド・レーヌ、クイケン兄弟ら大陸系古楽の面々も加わり、一時は古楽レーベルのトップを走っていた。ルネサンスからロマン派までバランス良く名盤が選ばれたこのセレクションは、「エラート」に姿を変え記憶から遠ざかりつつあるこのレーベルの再評価を促すラインナップだ。私としては特に、巨匠マッケラスがエイジ・オブ・エンライトメント管弦楽団を指揮したシューベルトの名演復活に快哉を叫びたい。

制作も相変わらず気合が入り、リマスタリングはもちろん、既述したようにオリジナル・ジャケットの復刻、解説・歌詞対訳も大幅な修正や新規書き下ろしを含む。メジャー・レーベルが古楽の国内盤新譜をさっぱり発売しなくなった現在、前回シリーズと併せ古楽演奏近代史が求めやすい価格で蘇ることの意義は大きい。「奇跡」がふたたび「日常」になることを祈って。



no.1 雉の祝宴  
～1454年 ブルゴーニュ公の宮廷における祝宴の音楽

ドミニク・ヴェラール (指揮)  
アンサンブル・ジル・パンショフ

1454年に開催された「雉の祝宴」の音楽を、詳細な研究の下に再現したアルバム。中世の音の響きが心地よく広がる。

録音:1989年12月 スイス

WPCS-16214



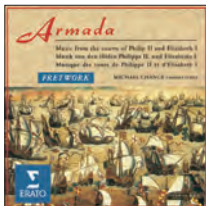
no.2 ビクトリア:聖週間のレスポンソリウム集

ハリー・クリストファーズ (指揮)  
ザ・シックスティーン

ビクトリアが、聖職者として「教会音楽」という限られた領域の中で、スペイン特有の宗教的情熱の表現を具現化した「聖週間のレスポンソリウム」を、ザ・シックスティーンの見事な演奏で収録した記念碑とも言える録音。

録音:1990年5月 セント・ジュード・オン・ザ・ヒル、ロンドン

WPCS-16215



no.3 アルマダ〈無敵艦隊〉～フェリペ2世(スペイン)と  
エリザベス1世(イギリス)期の宮廷音楽

フレットワーク

16世紀末、イギリスとスペインが政治的に敵対していたころ、音楽面では双方ともにルネサンス末期の「音楽的黄金時代」を迎えていた。同時代の音楽をヴィオール・コンソート「フレットワーク」が、理想的な解釈で演奏した企画盤。

録音:1988年1月15日～17日 フォード・アビー、サマセット、イギリス

WPCS-16216



no.4 デ・ヴェルト:マドリガーレ集 第7巻

アントニー・ルーリー (指揮)  
コンソート・オブ・ミュージック

16世紀イタリアで開花した“イタリア様式の歌曲”=マドリガーレ。アントニー・ルーリー率いるコンソート・オブ・ミュージックによる、デ・ヴェルトのマドリガーレ集。

録音:1988年7月 フォード・アビー、チャード、ドーセット、イギリス

WPCS-16217



no.5 アンドレア&ジョヴァンニ・ガブリエリ:  
1595年 ヴェネツィアの戴冠式

ポール・マククリーシュ (指揮)  
ガブリエリ・コンソート・アンド・プレイヤーズ

マククリーシュとガブリエリ・コンソート・アンド・プレイヤーズの名を一躍有名にした、鮮烈なメジャー・デビュー盤。1990年英グラモフォン誌「音楽史部門賞」受賞作品。

録音:1989年7月 プリンクバーン・プライオリ、ノーサンバーランド、イギリス

WPCS-16218



no.6 ロンドンの街角と劇場で  
～エリザベス朝のバラッドと劇場音楽

ライル・ノルドストロム、ポール・オデット (音楽監督)  
ザ・ミュージシャンズ・オブ・スワン・アリ

エリザベス朝時代——街ではバラッドが、劇場ではシェイクスピアが流行り、イギリス全体が活気に満ちていた。時代を映すバラッドの数々。

録音:1988年5月～6月 ハバーダッシュャーズ・アスクス・スクール、ハートフォードシャイヤ、イギリス

WPCS-16219



## no.7 R.ジョーンズ:ミューズの園

エマ・カークビー (ソプラノ)  
アントニー・ルーリー (リュート)

カークビー絶頂期の透明感あふれる美声とルーリーによるリュート演奏を、ナチュラルかつリアルにとらえた優秀録音。

録音:1989年12月 フォード・アビー、チャード、ドーセット、イギリス

WPCS-16220



## no.8 3羽のカラス ~レイヴンズクロフトの“うた”

アントニー・ルーリー (指揮)  
コンソート・オブ・ミュージック

市民社会が形成されてきた17世紀イギリスの時代考証をふまえ、その時代の大量歌曲集を再現したユニークなアルバム。田舎くささを残しつつも、都会の鬱陶気を醸し出そうとしている歌唱は聴きもの。

録音:1989年5月 フォード・アビー、チャード、ドーセット、イギリス

WPCS-16221



## no.9 ラモー:クラヴサン合奏曲集

トリオ・ソネリー

オペラで成功を収めたラモーが次に試みたのは、クラヴサンを中心とした合奏曲! 古楽器の名手たちによる、新たな解釈によるラモー作品集。

録音:1986年4月 フォード・アビー、チャード、サマセット、イギリス

WPCS-16222



## no.10 J.S.バッハ: マニフィカトBWV243 & カンタータBWV21

シグスヴァルト・クイケン (指揮) ラ・プティット・バンド  
オランダ室内合唱団

巨匠クイケンらしい推進力と明確な構成! 歌詞内容を反駁しつつバッハに對峙した、集中度の高い演奏がここにある。

録音:1988年12月 アムステルダム、オランダ

WPCS-16223



## no.11 ヘンデル:ルクレツィア~カンタータ集

ジェラルール・レーヌ (カウンターテナー)  
イル・セミナリオ・ムジカーレ

ヘンデルの世俗カンタータ4曲とトリオ・ソナタを収録。1985年にイル・セミナリオ・ムジカーレを設立し、イタリア・バロックの声楽曲を精力的に取り上げたジェラルール・レーヌのセンスが光る1枚。

録音:1990年10月 レジオンドヌール教会、サントニ、フランス

WPCS-16224



## no.12 モーツァルト:ホルン協奏曲集

ティモシー・ブラウン (ホルン)  
シグスヴァルト・クイケン (指揮) エイジ・オブ・エンライトメント管弦楽団

モーツァルトの時代に、楽器として飛躍的発達を遂げたホルン。当代随一のナチュラル・ホルン奏者T.ブラウンによる、モーツァルト時代の鬱陶気を彷彿させる演奏。

録音:1989年1月、5月、6月 ボックスグローヴ・ブライオリ、チチェスター、イギリス

WPCS-16225



no.13 **メンデルスゾーン：  
交響曲第4番、真夏の夜の夢(抜粋)**

チャールズ・マッケラス(指揮)  
エイジ・オブ・エンライトメント管弦楽団

巨匠マッケラスの爽快感みなぎる演奏! 録音当時はめずらしかった、ピリオド楽器によるロマン派作品。  
録音:1987年10月 アビー・ロード・スタジオ、ロンドン WPCS-16226



no.14 **ウェーバー：クラリネット協奏曲集**

アントニー・ペイ(クラリネット)  
エイジ・オブ・エンライトメント管弦楽団

クラリネットの名手アントニー・ペイが、オリジナル楽器独特の豊潤な表情とともに、完璧な演奏を繰り広げる!  
録音:1987年10月21日~23日 聖パルナバ教会、ロンドン WPCS-16227



no.15 **バード：4声のミサ曲 & 5声のミサ曲** **2CD**

ハリー・クリストファーズ(指揮)  
ザ・シックスティーン

16世紀末から17世紀初頭——イギリスがヨーロッパの覇者となり、世界にむけて歩を進めていた時代に「音楽の父」と称されていたバードの典礼用音楽集。  
録音:1988年9月(CD1)、1989年9月(CD2) ボックスグローヴ・ブライオリ、チチェスター、イギリス WPCS-16228/9



no.16 **ビーバー：ロザリオのソナタ** **2CD**

ジョン・ホロウェイ(ヴァイオリン)  
デイヴィット・モロニー(チェンバー・オルガン、ハーブシコード) トラジコメディア

バロック・ヴァイオリン奏者の中でも、美しい音を奏でる名手/ホロウェイによる神秘的なソナタ。  
録音:1989年7月 聖マティン教会、イースト・ウッド・ハイ、ニューベリー、バークシャー、イギリス WPCS-16230/1



no.17 **ヴィヴァルディ：和声と創意の試み 作品8** **2CD**

モニカ・ハジェット(ヴァイオリン)  
ニコラス・クレーマー(指揮) ラグラン・バロック・プレイヤーズ

イギリスの古楽シーンを象徴する、さすがの演奏。  
録音:1988年12月、1989年3月 アビー・ロード・スタジオ No.1、ロンドン、イギリス WPCS-16232/3



no.18 **J.S.バッハ：  
4つのミサ曲 BWV233-236、サンクトゥス BWV238** **2CD**

フィリップ・ヘレヴェツェ(指揮)  
コレギウム・ヴォカレ・ヘント

しっかりとした考証をふまえたバッハ演奏に定評のあるヘレヴェツェへの徹底した解釈。バッハ独特の美学を満載した、魅惑の作品集。  
録音:1989年7月(CD2)、1990年4月(CD1) 女子修道院、サント、フランス WPCS-16234/5



no.19

## J.S.バッハ:クリスマス・オラトリオ

2CD

フィリップ・ヘレヴェツェ (指揮)  
コレギウム・ヴォカール・ヘント

美しい純正なハーモニーを優先したヘレヴェツェへの解釈によりバッハ作品の美しさを出させた決定盤!

録音:1989年1月 ヘント、ベルギー

WPCS-16236/7



no.20

## シューベルト: 交響曲第5番、第8番「未完成」、第9番「ザ・グレート」

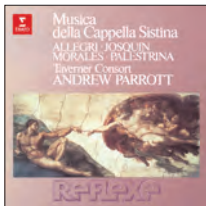
2CD

チャールズ・マッケラス (指揮)  
エイジ・オブ・エンライトメント管弦楽団

時代考証への関心が高かったマッケラスが、ピリオド楽器オーケストラと共に収録した、シューベルト交響曲集。「未完成」は、ニューボールドによる4楽章版。

録音:1990年11月(CD1)、1987年10月(CD2) アビー・ロード・スタジオ、ロンドン、イギリス

WPCS-16238/9



no.21

## システーナ礼拝堂の音楽

アンドルー・パロット (指揮)  
タヴァナー・コンソート

15世紀末、「ア・カペラ(礼拝堂様式)」を生んだヴァチカンの礼拝堂に響いた音楽。

録音:1986年1月 テンプル教会、ロンドン、イギリス

WPCS-16240



no.22

## メディチ家の祝祭 〜「ラ・ペレグリーナ」のためのインテルメディア(1589年)

アンドルー・パロット (指揮)  
タヴァナー・コンソート、合唱団&プレイヤーズ

数多あるイタリアの芸術文化発展に最大級の貢献をしたメディチ家を象徴する豪華な祝宴!

録音:1986年7月 アビー・ロード第1スタジオ、ロンドン、イギリス

WPCS-16241



no.23

## パーセル:ヴィオールのためのファンタジア集

ロンドン・バロック

知的に、自由に、みずみずしく——活き活きと緩なす音のタベストーリー。

録音:1983年4月6日~8日 テンプル教会、ロンドン、イギリス

WPCS-16242



no.24

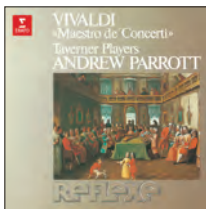
## シュッツ:クリスマス物語 プレトリウス:4つのモテット

アンドルー・パロット (指揮)  
タヴァナー・コンソート、合唱団&プレイヤーズ

美しすぎる! バロックのクリスマス名曲。

録音:1985年11月21日、22日、24日、1986年1月12日、13日 アビー・ロード第1スタジオ、ロンドン、イギリス

WPCS-16243



## no.25 ヴィヴァルディ:マエストロのための協奏曲集

アンドルー・パロット(指揮)  
タヴァナー・プレイヤーズ

絶妙なアンサンブル! 芳しく香り立つヴィヴァルディの魅力——パロットによる、ヴィヴァルディの様々な楽器のための協奏曲集。

録音:1986年6月 アビー・ロード第1スタジオ、ロンドン、イギリス

WPCS-16244



## no.26 ヨハン・ベルンハルト・バッハ:管弦楽組曲集 日本盤初発売

トーマス・ヘンゲルブロック(指揮)  
フライブルク・バロックオーケストラ

J.S.バッハの又従兄弟の作品をヨーロッパ最前線の古楽オーケストラが演奏した貴重盤!

録音:1990年12月5日~8日、1991年1月8日~11日 レフォルミエルテ教会、アルスハイム、スイス

WPCS-16245



## no.27 J.S. バッハ:ヴィオラ・ダ・ガンバ・ソナタ集 日本盤初発売

ジョルディ・サヴァール(ヴィオラ・ダ・ガンバ)  
トン・コープマン(チェンバロ)

ここに対峙する、名手二人の強烈な個性! 1977年録音の名盤。

録音:1977年3月1日~3日 クレイドンハウス、バッキンガムシャー、イギリス

WPCS-16246



## no.28 ベートーヴェン:弦楽五重奏曲、七重奏曲 日本盤初発売

ハウスムジーク

典雅で爽快、かつ芸術性をも包含——ベートーヴェンの真髄に迫る演奏。

録音:1992年3月 セント・ジョージ教会、ブランドン・ヒル、プリストル、イギリス

WPCS-16247



## no.29 ベルリオーズ:幻想交響曲

ロジャー・ノリントン(指揮)  
ロンドン・クラシカル・プレイヤーズ

オリジナル楽器&編成のオーケストラによる初録音だった、衝撃的演奏!

録音:1988年3月&11月 アビー・ロード第1スタジオ、ロンドン、イギリス

WPCS-16248



## no.30 ブラームス:交響曲全集

3CD

ロジャー・ノリントン(指揮)  
ロンドン・クラシカル・プレイヤーズ

温故知新——古きをたずね革新を作り上げる。ノリントンの真髄を味わう、至高のブラームス!

録音:1990年9月(第1番)、1992年9月(第2番)、1995年5月(第3&4番) アビー・ロード第1スタジオ、ロンドン、イギリス WPCS-16249/51

## オリジナル 第3回 20タイトル (2015年11月18日発売)

Originale Period Instrumental Series

No.	タイトル	アーティスト	品番
1	雉の祝宴～1454年 ブルゴニェ公の宮廷における祝宴の音楽	アンサンブル・ジル・バンショワ	WPCS-16214
2	ビクトリア：聖週間のレスポンソリウム集	ザ・シックスティーン	WPCS-16215
3	アルマダ（無敵艦隊） ～フェリペ2世（スペイン）とエリザベス1世（イギリス）期の宮廷音楽	フレットワーク	WPCS-16216
4	デ・ヴェルト：マドリガーレ集 第7巻	コンソート・オブ・ミュージック	WPCS-16217
5	アンドレア&ジョヴァンニ・ガブリエリ： 1595年 ヴェネツィアの戴冠式	ポール・マクリーシュ	WPCS-16218
6	ロンドンの街角と劇場で～エリザベス朝のバラッドと劇場音楽	ザ・ミュージシャンズ・オブ・スワン・アリ	WPCS-16219
7	R.ジョーンズ：ミューズの園	エマ・カークビー／アントニー・ルーリー	WPCS-16220
8	3羽のカラス ～レイヴンズクロフトの“うた”	コンソート・オブ・ミュージック	WPCS-16221
9	ラモー：クラヴサン合奏曲集	トリオ・ソネリー	WPCS-16222
10	J.S. バッハ：マニフィカトBWV243&カンタータBWV21	ラ・プティット・バンド	WPCS-16223
11	ヘンデル：ルクレツィア ～カンタータ集	ジェラール・レーヌ／イル・セミニリオ・ムジカーレ	WPCS-16224
12	モーツァルト：ホルン協奏曲集	ティモシー・ブラウン／シギスヴァルト・クイケン	WPCS-16225
13	メンデルスゾーン：交響曲第4番、真夏の夜の夢（抜粋）	チャールズ・マッケラス	WPCS-16226
14	ウェーバー：クラリネット協奏曲集	アントニー・ベイ	WPCS-16227
15	バード：4声のミサ曲&5声のミサ曲	ザ・シックスティーン	WPCS-16228/9 <b>2CD</b>
16	ビーバー：ロザリオのソナタ	ジョン・ホロウェイ	WPCS-16230/1 <b>2CD</b>
17	ヴィヴァルディ：和声と創意の試み 作品8	モニカ・ハジェット	WPCS-16232/3 <b>2CD</b>
18	J.S. バッハ： 4つのミサ曲 BWV233-236、サンクトゥス BWV238	フィリップ・ヘレヴェッヘ	WPCS-16234/5 <b>2CD</b>
19	J.S. バッハ：クリスマス・オラトリオ	フィリップ・ヘレヴェッヘ	WPCS-16236/7 <b>2CD</b>
20	シューベルト：交響曲第5番、第8番「未完成」、第9番「ザ・グレイト」	チャールズ・マッケラス	WPCS-16238/9 <b>2CD</b>

## オリジナル 第4回 10タイトル (2015年12月16日発売)

Originale Period Instrumental Series

No.	タイトル	アーティスト	品番
21	シスターナ礼拝堂の音楽	アンドルー・パロット	WPCS-16240
22	メディチ家の祝祭 ～「ラ・ベレグリーナ」のためのインテルメディオ（1589年）	アンドルー・パロット	WPCS-16241
23	パーセル：ヴィオールのためのファンタジア集	ロンドン・バロック	WPCS-16242
24	シュッツ：クリスマス物語 プレトリウス：4つのモテット	アンドルー・パロット	WPCS-16243
25	ヴィヴァルディ：マエストロのための協奏曲集	アンドルー・パロット	WPCS-16244
26	ヨハン・ベルンハルト・バッハ：管弦楽組曲集	トーマス・ヘンゲルブロック	WPCS-16245
27	J.S. バッハ：ヴィオラ・ダ・ガンバ・ソナタ集	ジョルディ・サヴァール／トン・コーブマン	WPCS-16246
28	ベートーヴェン：弦楽五重奏曲、七重奏曲	ハウスムジーク	WPCS-16247
29	ベルリオーズ：幻想交響曲	ロジャー・ノリントン	WPCS-16248
30	ブラームス：交響曲全集	ロジャー・ノリントン／ ロンドン・クラシカル・プレイヤーズ	WPCS-16249/51 <b>3CD</b>